

# 鈴高 プレス

《発行》  
神戸鈴蘭台高校  
編集部

## 手話講演会「いろいろな人とコミュニケーションを」 感染対策を徹底して実施



↑手話講演会を受ける参加者

11月18日に会議室で藤本由記さんと藤本洋子さんを招いて手話講演会を開催した。

講演会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染防止のため参加した生徒はフェイスシールドを装着して行った。

今回の講演会では福祉活動部や生徒会、手話に興味を持つ生徒が参加した。また生徒だけでなく保護者の方も手話を学びに来られていた。

藤本由記さんは今回の講演の感想を手話で伝えてくれた。

### 講演者・藤本由記さんのお話

#### 良い様子で体験できていた

→生徒に手話を教える  
藤本由記さん



今回の手話講演会では、身振りゲームなどをみんな楽しそうに出来ていました。筆談体験のときの様子もよかったです。

今回の講演会を通じて勇気を出して挨拶だけでも良いので、手話などを使ってコミュニケーションを取ってほしいです。

### 参加者の感想

#### 初めての手話で苦戦

前から気になっていて担任の先生から勧められたので参加しました。慣れていないので、手話をするところで苦戦したけど、いろんな手語を知れて良かったです。この講演会を通じて、障がいがある人とも仲良くしていきたいと思えます。

(1年生・女子)

講演会の案内を見て意欲が湧いて参加しました。難しいこともありましたが、簡単なあいさつや返事、自分の名前を伝えられてよかったです。これからは困っていたら積極的に助けたいし、コミュニケーションを取りに行きたいです。

(1年生・男子・生徒会役員)

手話などで相手に伝えることが難しかったけど、簡単な手話や聴覚障がい者に対しての心構えが知れてよかったです。

この講演会を通して、これからはいろいろな人とコミュニケーションを取っていききたいと思いました。

(1年生・男子・生徒会役員)

手話をするのが初めてで難しかったけど、自分の名前を手話で表現出来て嬉しかったです。自分の周囲に障がいを持つ方がいたら助けられる人になりたいです。

(2年生・男子・生徒会長)

耳の聞こえない人への会話の方法を知れたので、これからは多くの人とコミュニケーションを取っていききたいです。

(2年生・男子・生徒会会計)

母の耳が聞こえづらくてどのように話したらよいか気になって参加しました。また、社内でも女性社員がいて筆談だと笑顔が見えない問題があるので、今回の講演会で学んだことを生かしていきたいです。

(保護者の方)

去年人気があったことを知って参加しようと思いました。手話と口話で伝えることに苦戦しました。でも障がい者の大変さを改めて感じられました。道で障がい者を見かけたら手話を使って会話しようと思います。(福祉活動部 部員たち)

### 次回予告

2021年 1月13日(水)16時~17時半

2階 会議室にて講演

是非お越しください!

### 平成30年西日本豪雨 体育館西側土砂崩れ

#### ようやく本格復旧始まる 3月末まで

平成30年7月にあった西日本豪雨により体育館西側の斜面が崩れ、下にある民家や公園に土砂が押し寄せた。その時すぐに緊急補修工事と土砂の撤去工事が行われたが、応急処置だった。そこで、もう一度調査をし、本格復旧を現在行っている。崩れたところをもう一度きれいにし、公園を整備する工事を3月末まで行う予定。

工事の間、体育館1階の北半分とゴミ捨て場周辺は立ち入り禁止になっている。体育館を使用する上での影響はないが、体育館1階で使えなくなっている場所がある。これから工事が本格的に始まりダンプカーが正門から通るようになる。「通るときは警備員が安全確認を行います。通学や部活で坂を使うときは生徒の皆さんも十分気をつけてください」と事務長は話す。



→瓦礫が積みあがっているところ



↓機械を使い瓦礫を運ぶ工事している様子



↑立ち入り禁止となっている体育館裏

→被害にあった公園から撮った工事現場



### ごみを違う場所に捨てないで

今回の工事によりゴミ捨て場の場所が講義棟の横に変更された。教室などでまとめたゴミを捨てる場所が変わったが、場所がわからない人、缶・ペットボトルを捨てる場所に間違えて入れてしまう人がいるようだ。今までの場所と変わり、戸惑っている人もいるだろう。新たな場所を覚え正しい場所にゴミを捨てるようにしよう。

